

土岐川グリーンベルト通信 第7号

平成16年度「笠原の森」での取り組みと活動報告（その1）

笠原中学校による取り組み～「笠原の森」のこれから～

笠原町の「笠原の森」では、平成12年より、笠原中学校の生徒が中心となり、「[2020年笠原の森](#)」をテーマに、地域住民・岐阜大学・行政機関（町・県・国）の支援のもと、「総合的な学習の時間」を利用して樹林整備活動を行っています。

これまでの活動により森が整備された結果、徐々に、「笠原の森」は地域に開かれた森になりつつあります。

本年度は、これまでの活動経緯を踏まえ、1年生を中心となり、3年生になるまでの3年間を通して、[樹林整備活動を地域へ広げよう！—学校・地域が主体となる樹林整備活動に向けて—](#)を目標として、樹林整備活動を展開する予定です。

「笠原の森」活動展開

平成16年度<学校活動の発展と地域活動の始動>

平成17～18年度<地域に根付いた活動として継続、推進>

また、本年度は、地域の方々に「笠原の森」に対する理解と関心をいっそう深めていただくことを目的に、「[笠原の森](#)」樹林の手入れ体験を企画しています。（次ページ「ご案内」をご参照ください。）

2020年笠原の森

生徒たちが父親や母親になった頃、子どもの手をひいて歩ける憩いの森



H13年度 歩道整備区間



H14年度
ベンチ・案内板設置



H15年度
ネームプレート設置



H16年度
樹林の手入れ(H14～継続)



H12年
歩道整備区間

山腹工施工地
(S30年代)

笠原の森

平成16年度 これまでの活動概要

本年度初めて樹林整備活動に携わる1年生のことを考え、活動を始めるにあたり、「森や樹林整備に対する関心」の啓発、これまでの活動経緯の共有化を目的として、右表のような活動を行いました。

実施日	活動内容
H16.10.7	「土砂災害防止と樹林整備」に関する講義（講師：多治見砂防国道事務所所長）
H16.10.22	笠原中学校生徒による樹林整備活動

「土砂災害防止と樹林整備」に関する講義(10/7)

多治見砂防国道事務所の所長が講師となり、1年生と保護者を対象として、下記の内容について講義を行いました。講義後、生徒から活動に対して意欲的な感想・意見が得られました。

講義内容：笠原の森の変遷、樹林整備の必要性とその効果、笠原中学校による樹林整備活動の経緯



生徒の感想・意見

- 先輩たちの活動を引き継ぎ、自分たちも整備をがんばりたい。
- 樹林整備を通して、笠原の森を魅力的な森にしたい。多くの地域の方々に森に入ってもらえるようにしたい。



笠原中学校生徒による樹林整備活動(10/22)

地域の方々、岐阜大学生、行政機関職員の指導のもと、生徒が、間伐、枯損木の伐採、下草刈り、歩道の整備等の樹林整備を行いました。今回は、従来の支援機関に加え、多治見市のNPO団体にもご支援いただき、活動は広がりを見せています。

活動を通して、生徒は、樹林整備の方法、樹林整備の必要性、樹種、森の様子等を学習するとともに、森とふれあう中で様々な発見をすることができたようです。

活動の様子



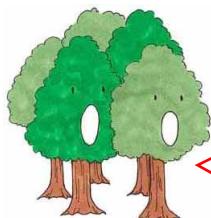
活動の成果



生徒の感想・意見

- 日常経験することのできないノコギリを使用した木の伐採や、チェーンソーを見ることができ、楽しかった。
- 間伐をしていない森の状況、どのような木を切る必要があるのかがわかった。
- 暗くて、近づきにくい森だったが、間伐により明るくなり、入りやすくなった。
- 今後は、自分たちで木を見分けて、間伐を行いたい。
- 木の切り方や樹種等、様々なことを学ぶことができて良かった。
- 枯れたアカマツを切った際に、アリとカミキリムシの幼虫が出てきて驚いた。

<ご案内> 「笠原の森」をみんなで守ろう～樹林の手入れ体験～



平成17年1月下旬～2月上旬に、「笠原の森」忠靈塔周辺の樹林を対象として、住民参加による樹林整備活動を企画しています。

内容（予定）：「樹林の手入れ体験：間伐、案内看板作成・設置等」

詳細は、追って、笠原町の広報誌やホームページ、多治見砂防国道事務所のホームページ等に掲載する予定です。

みなさま、お誘い合わせのうえ、ご参加ください！

この活動は、土岐川流域グリーンベルト整備事業の一環として行っています。土岐川流域グリーンベルト整備事業は、多治見市・土岐市・笠原町の緑を対象とし、市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯(グリーンベルト)として保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

〒507-0804 岐阜県多治見市坂上町6-34
TEL : (0572) 25-8024
<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>